本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

CASIO

エクササイズ機能／アラーム／タイマー

1643*JA

取扱説明書

1643

このたびは弊社製品をお買い上げくださいまして誠にありがとうございます。末長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いくださいますようお願い申し上げます。

なお、この説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

本機のお取り扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。本機の特長、機能を十分に使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

安全上のご注意

絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠ **危険**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
⚠ **警告**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。
⚠ **注意**	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

△記号は「気をつけるべきこと」（注意）を意味しています。（左の例は感電注意）

⃠記号は「してはいけないこと」（禁止）を意味しています。（左の例は分解禁止）

●記号は「しなければならないこと」（強制）を意味しています。（左の例は電源プラグをコンセントから抜く）

⚠警告

本機をスキューバダイビング（アクアラング）に使用しないでください。

※本機はダイバーズウオッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

⚠注意

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくとサビ易くなります。

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

①金属・皮革に対するアレルギー
②時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
③体調不良等

- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

分解しないでください

本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。

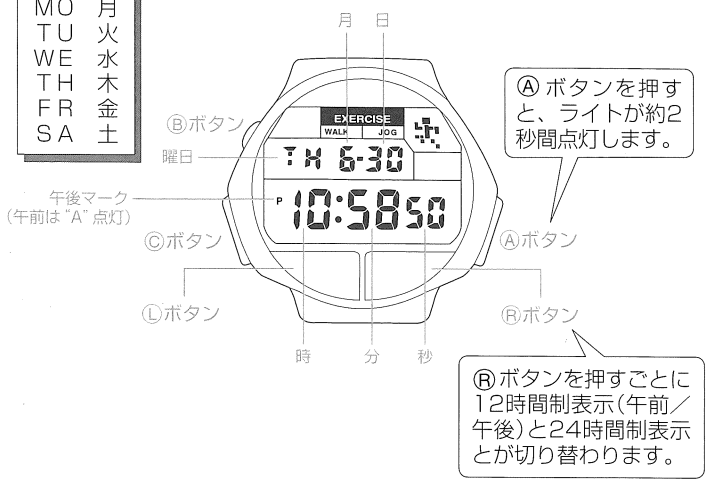
操作のしくみと表示の見方

Ⓒ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順で表示が切り替わります。

時刻・カレンダーモード

曜日の見方

SU	日
MO	月
TU	火
WE	水
TH	木
FR	金
SA	土



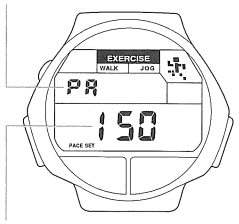
Ⓒ

エクササイズモード



Ⓒ

ペース設定モード



Ⓒ

アラームモード



Ⓒ

タイマーモード



Ⓒ

時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。
なお、月に１度くらい秒合わせをしていただくと、時刻はいつも正確です。

準備：「セット表示」にする

時刻・カレンダーモードのときに、

Ⓑ ボタンを約１秒間押します

➡「秒」が点滅します。

★ このとき、Ⓑボタンを押すと点滅が止まります。
※ 点滅表示のまま、2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。

<セット表示>



●秒のセット…± 30 秒以内の遅れ／進みの調整

「秒」が点滅しているとき、

時報に合わせて Ⓡ ボタンを押します

➡秒が00～29のときは切り捨てられ、30～59のときは１分くりあがって「00」秒になります。

※ 時報は「時報サービス電話117番」が便利です。



★ 秒合わせ後、Ⓑ ボタンを押すと点滅が止まります。

●時・分・年・月・日・曜日のセット

(1)「セット表示」のときに、

Ⓒ ボタンを押します

➡Ⓒボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。

秒 → 時 → 分 → 年 → 月 → 日 → 曜日 → 秒 …（Ⓒで移動）



(2) 数値セット

セットしたい箇所が点滅しているとき、

Ⓡ ボタンを押します

➡Ⓡ ボタンを押すごとに数字が進み、押し続けると早く進みます。

(1) ～ (2) の操作をくりかえし、時・分・年・月・日・曜日を合わせます。



★「時」のセットのとき、午前（A）／午後（P）、24時間制（24H）にご注意ください。
★「年」は1990～2029年までセットできます。
★ カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外は直す必要はありません。
★ すべてのセット終了後、Ⓑ ボタンを押すと点滅が止まります。
※ 点滅表示のまま、２～３分経過すると自動的に点滅が止まります。

アラーム・時報の使い方

（時刻・カレンダーモードのときにⒸ ボタンを３回押してアラームモードにします。）
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音で知らせます。
また、毎正時（00分）に時報を鳴らすこともできます。

●アラーム時刻のセットのしかた

(1) セット表示にする

アラームモードのときに、

Ⓑ ボタンを約１秒間押します

➡アラーム時刻の「時」が点滅し、"▮▮▮" が点灯します。

★ このとき、Ⓒ ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(2) 数値セット

セットしたい箇所が点滅しているとき

Ⓡ ボタンを押します

➡Ⓡ ボタンを押すごとに数字が進み、押し続けると早く進みます。

★「時」のセットのとき午前(A)／午後(P)にご注意ください。
★基本時刻を24時間制表示にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制表示となります。

(3) セットが終わりましたら、

Ⓑ ボタンを押します ➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま、２～３分経過すると自動的に点滅が止まります。

●アラーム・時報の ON/OFF 設定

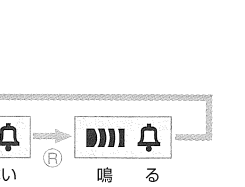
～アラーム・時報を鳴らしたいとき / 鳴らしたくないときの設定方法～

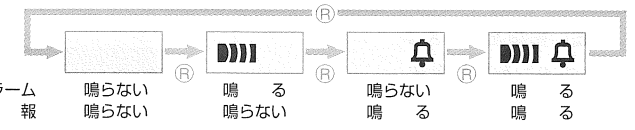
アラームモードのときに、

Ⓡ ボタンを押します

➡Ⓡボタンを押すごとにアラームマーク(▮▮▮)、時報マーク(🔔)が点灯／不点灯をくりかえします。

★アラームを鳴らしたいときは "▮▮▮"、時報を鳴らしたいときは "🔔" を点灯させます。それぞれのマークを消しておくと、アラーム/時報は鳴りません。
★ライトON（✥点灯）にしておくと、アラーム・時報の報音に合わせて文字板が発光します。（「ライト点灯について」参照）





●鳴っている電子音を止めるには

ⒶⒷⒸⓇⓁ いずれかのボタンを押します。

タイマーの使い方

（時刻・カレンダーモードのときにⒸ ボタンを４回押してタイマーモードにします。）
タイマーは１分単位で最大24時間までセットでき、セットした時間を経過すると10秒間電子音が鳴り、タイムアップを知らせます。

●タイマー時間セットのしかた

(1) セット表示にする

タイマーモードのときに、

Ⓑ ボタンを約１秒間押します

➡タイマーの「時」が点滅します。

★ このときⒸボタンを押すごとに点滅箇所が「時」と「分」を移動しますので、セットしたい箇所を点滅させます。



(2) 数値セット

セットしたい箇所が点滅しているとき、

Ⓡ ボタンを押します

➡Ⓡ ボタンを押すごとに数字が進み、押し続けると早く進みます。

※ 24時間にセットするときは、表示を"0:00"にします。

(3) セットが終わりましたら、

Ⓑ ボタンを押します

➡点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま、2～3分経過すると自動的に点滅が止まります。



●減算計測のしかた（タイマーの使い方）

Ⓛ ボタンを押すごとに計測がスタート／ストップします

➡減算計測は１秒単位で行ないます。

★ ストップ後、Ⓡ ボタンを押すと計測前の表示に戻ります。
★ タイムアップになると、10秒間電子音が鳴ります(いずれかのボタンを押すと音が止まります)。なお、オートリピートタイマーのときは引き続き減算計測を続けます。
★ ライトON（✥点灯）にしておくと、タイムアップの報音に合わせて文字板が発光します。（「ライト点灯について」参照）



●タイマー方法を選ぶ

本機のタイマーは以下の２種類があり、使い方に合わせてお好きな方法を選ぶことができます。

●リピートタイマー（繰り返し計測）
タイムアップになるとタイマー時間を表示して、減算計測が止まります。同じ時間を何回も計測するときに便利です。

●オートリピートタイマー（自動繰り返し計測）＜"AUTO" 点灯＞
タイムアップになるとタイマー時間に戻り、計測ストップするまで繰り返し減算計測を行ないます。

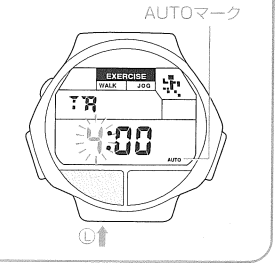
★ 選び方

タイマー時間のセット表示のとき、

Ⓛ ボタンを押します

➡Ⓛ ボタンを押すごとに "AUTO" が点灯／不点灯します。

※ オートリピートタイマーにするには、"AUTO" を点灯させ、リピートタイマーにするには "AUTO" を消しておきます。



エクササイズ機能の使い方

（時刻・カレンダーモードのときにⓒボタンを１回押してエクササイズモードにします。）
本機のエクササイズ機能は、一定の速度で歩いた(走った)時間を計測し、使用する人の歩幅、および年齢や体重から、そのとき消費したカロリー*・進んだ距離・歩数を算出するものです。
*本機で求める消費カロリーは、厚生労働省のデータに基づいた計算式に準拠しています。

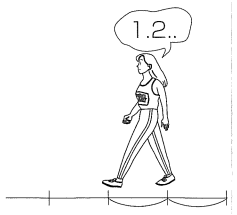
■ 計測の前にすること

準備１：自分の歩幅を求める

あらかじめ長さのわかっている距離を実際に歩き(走り)、そのときの歩数を距離で割って求めます。

例 1)テニスコートの長辺（23.77m）を 32 歩で歩いた（WALK）
23.77(m)÷ 32(歩)＝ 0.743(m)≒ 74(cm)
➡75(cm)

例 2)400m トラック１周を 268 歩で走った（JOG）
400(m)÷ 268(歩)＝ 1.49(m)≒ 149(cm)
➡150(cm)



準備２：個人データをセットする

使用する人の歩幅(上記“準備1”で求めたもの)、年齢、体重をセットします。

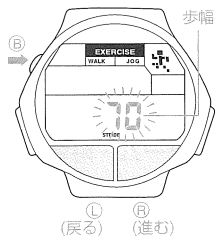
計測値が「0:00'00"00」以外のときは個人データはセットできません。このときは、エクササイズモードでⓁボタンを押し、計測を終了させてから、Ⓡボタンを押して計測値を「0:00'00"00」にします。

(1) 歩幅のセット

Ⓑボタンを約１秒間押します
➡「歩幅」が点滅します。

★このとき、Ⓡボタンを押すと歩幅が5cmずつ進み、Ⓛボタンを押すと5cmずつ戻りますので、歩幅を合わせます。いずれも押し続けると早く進みます。

※歩幅は40～190cmの範囲で5cm単位でセットできます。

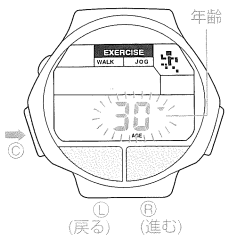


(2) 年齢のセット
歩幅セット後、

Ⓒボタンを押します
➡「年齢」が点滅します。

★このとき、Ⓡボタンを押すと年齢が進み、Ⓛボタンを押すと戻りますので、年齢を合わせます。いずれも押し続けると早く進みます。

※年齢は13～79才の範囲内でセットできます。13～19才は1才単位で、それ以上は10才単位*(20才台は“20-”と表示)でセットします。
*例 26才は“20-”、41才は“40-”とセットします。
※なお、13才未満は“13”、80才以上は“70-”としてください。

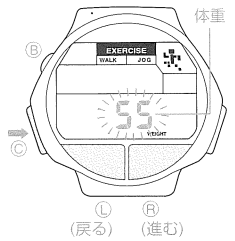


(3) 体重のセット
年齢セット後、

Ⓒボタンを押します
➡「体重」が点滅します。

★このとき、Ⓡボタンを押すと体重が1kgずつ進み、Ⓛボタンを押すと1kgずつ戻りますので、体重を合わせます。いずれも押し続けると早く進みます。

※体重は40～159kgの範囲内で1kg単位でセットできます。
※なお、40kg未満は“40”、160kg以上は“159”としてください。



(4) すべてのセットが終わりましたら、
Ⓑボタンを押します ➡ 点滅が止まり、セット完了です。

※セット表示のまま2～3分経過すると、自動的に点滅が止まりエクササイズモードの表示に戻ります。

準備３：ペースを設定する

１歩あたりの速さ（ペース）を設定します。
※このペースを「１歩」と換算して歩数および進んだ距離を算出します。

計測値が「0:00'00"00」以外のときはペース設定（変更）はセットできません。このときは、エクササイズモードでⓁボタンを押し、計測を終了させてから、Ⓡボタンを押して計測値を「0:00'00"00」にします。

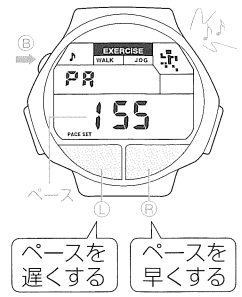
(1) Ⓒボタンを押して、ペース設定モードにします



(2) 自分のペースを決める
➡計測時と同じペースで実際に歩き(走り)ます。

(3) ペース音を鳴らす

Ⓑボタンを押します
➡“♪”が点灯し、ペース音が鳴り出します。
※数字は１分あたりの歩数を示します。



(4) ペース設定
自分のペースと時計のペース音を比較して、
時計のペース音が早いとき
➡ Ⓛボタンを押します
時計のペース音が遅いとき
➡ Ⓡボタンを押します

※それぞれのボタンを押すごとに５ずつ数字が進み（戻り）ます。ペース音は100～200（歩／分）の範囲でセットできます。
※ボタンを押してもペース音の速さが変わらないときは、エクササイズ計測中と思われますので、エクササイズモードに切り替えて計測値を「0:00'00"00」にしてください。

(5) ペース設定が終わりましたら、
Ⓑボタンを押します ➡“♪”が消え、ペース音が止まります。

(6) Ⓒボタンを４回押して、エクササイズモードに戻します
※エクササイズ計測中にペース音を鳴らしたいときは、ペース音を鳴らしたまま(“♪”点灯のまま)Ⓒボタンをエクササイズモードに戻します。

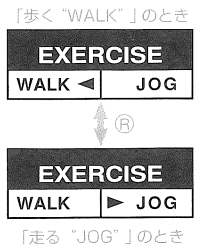
■ エクササイズ計測のしかた

準備：時刻・カレンダーモードのときに、Ⓒボタンを１回押してエクササイズモードにします

運動の種類（歩く“WALK”／走る“JOG”）は、エクササイズ計測前(「0:00'00"00」表示のとき)」に選びます。エクササイズ計測を開始すると、運動の種類の切り替えはできませんのでご注意ください。

(1) 運動の種類を決めます

Ⓡボタンを押します
➡Ⓡボタンを押すごとにWALKとJOGが切り替わります
※“準備2”でセットした「歩幅」と合う運動の種類を選びます。



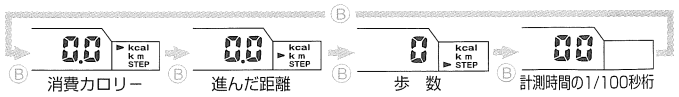
(2) 計測を始める

Ⓛボタンを押します
➡表示右上のアニメが動き出し、下段に計測時間（時・分・秒）、上段に算出データ（消費カロリー／進んだ距離／歩数）または計測時間の1/100秒桁を表示します。



●算出データを見る

Ⓑボタンを押すごとに上段の表示内容が以下の順で切り替わります。



★計測時間は1/100秒単位で23時間59分59秒99（24時間計）まで表示します。24時間を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。
★算出データの計測単位、計測範囲は以下のとおりです。それぞれ計測範囲を超えると0に戻って計測を続けます。

（消費カロリー：0.1kcal単位／0.0～9999.9kcal
進んだ距離：0.1km単位／0.0～99.9km
歩　　数：1歩単位／0～99999歩）

●ペース音について

計測中に“準備３”で設定したペース音を鳴らすことができ、歩く（走る）速さを確認しながら運動できます。
※本機は、このペース音１回を１歩として換算し、歩数を算出します。

★ペース音を鳴らして計測するには
➡ペース設定後、ペース音を鳴らしたまま、エクササイズモードに戻します。

（ペース音ONのとき計測を開始すると、計測時間が毎分00～30秒の間はペース音が鳴ります。ただし、計測値が１時間を超えると、ペース音は鳴りません。
※計測するときにいつもペース音ON（“♪”点灯）にしておくと、電池が消耗し、寿命が短くなりますのでご注意ください。）

★計測の途中でペース音を止めるには
➡計測中にⒸボタンを押してペース設定モードに切り替えてから、Ⓑボタンを１回押します。（“♪”マークが消えます）

●途中経過を止めて見るには（スプリット計測）

計測中にⓇボタンを押します ➡計測は続けたまま、表示が止まります。
※このとき、“SPLIT”が点灯し、上段は自動的に計測時間の1/100桁表示になります。算出データを見るときはⒷボタンを押します。
※スプリット表示を解除するには、もう一度Ⓡボタンを押します。

●計測を一時中断するには

計測中にⓁボタンを押します ➡計測を中断し、表示が止まります。
※計測を再開するときは、もう一度Ⓛボタンを押します。

(3) 計測を終える

Ⓛボタンを押します
※計測を終えたら、続けてⓇボタンを押して計測値を「0:00'00"00」に戻します。



■ 消費カロリーについて

本機で計測・表示する消費カロリーは、「総消費カロリー」です。これは、安静状態のときに消費される「安静時代謝量」と、付加運動（実際に体を動かしたとき）により消費される「純増消費カロリー」との和（＝一般にいう「消費カロリー」）のことです。
また、本機の消費カロリー表示の数値は、男性の場合を想定して計算していますので、女性の方がお使いのときは、表示数値から5%程度少なめに見てください。

総消費カロリー			
安静時代謝量（安静状態のときに消費するカロリー）			純増消費カロリー（体を動かすことによって消費するカロリー）
基礎代謝量（生命を維持するために最低限必要なカロリー）			

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Ｈｚ
精　　度：平均月差±30秒以内
基本機能：時刻表示～時・分・秒、午前(A)／午後(P)／24時間制表示(24H)
カレンダー表示～月・日・曜日、フルオートカレンダー(1990～2029年)
エクササイズ機能：計測単位＝1/100秒
計測範囲＝23時間59分59秒99（24時間計）
歩き(WALK)／走り(JOG)計測、消費カロリー／距離／歩数
個人データセット機能、ペース設定機能
ストップウオッチ計測機能(通常計測、スプリット計測、1・2着同時計測)
アラーム機能：時刻アラーム　セット単位＝分 電子音＝20秒間
時報 毎正時に2回電子音で報時
タイマー機能：計測単位＝1秒　セット単位＝1分　計測範囲＝24時間　電子音＝10秒間
ロスタイム計測、オートリピート／リピートタイマー切替
そ の 他：自動復帰機能、12/24時間制表示切替、ELバックライト
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子、ワンチップCMOS-LSI
使用電池：CR-2016(電池別途販売)
※電池はカシオ指定のものをご使用ください。
電池寿命：約2年
（１日あたりライト2.5秒間、アラーム20秒間、および、エクササイズ機能を１週間あたり5日、１日あたり30分使用した場合）
※ライトの使用条件により電池寿命が短くなることがあります。
１日あたりライト12.5秒間使用 …… 約16ヶ月
１日あたりライト25秒間使用 …… 約11ヶ月

ライト点灯について

本機の表示部にはEL（エレクトロルミネッセンス）パネルが内蔵されており、暗いときに表示を明るくして見ることができます。また、アラームなどの電子音報音に合わせて文字板を発光させることもできます。

■ ボタンを押して発光させる

どのモードのときでも、Ⓐ ボタンを押すと約2秒間文字板が発光します。



■ 電子音報音に合わせて発光させる

時刻・カレンダーモードのとき、Ⓛ ボタンを約1秒間押すごとにライトON（✲点灯）／OFFが切り替わります。

※ ライトON（✲点灯）にしておくと、電子音報音に合わせて文字板が発光します。

※ 電子音報音（発光）のタイミングについては各機能の項目をご覧ください。

＜ご注意＞

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中にいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これはELパネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。

ご使用上の注意

防水性

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンダイビング（素潜り）	×	×	○	○

※BARは気圧の意味で、防水性の高さを表わします。

※専門的な潜水＝スキューバダイビング（アクアラング）でのご使用はお避けください。

- 表面または裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの。防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の多い場所でのご使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
- 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
- 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
- 防水性を保つために定期的（2〜3年を目安に）なパッキン交換をおすすめします。
- 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げ店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。（特殊な治具を必要とします）
- 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態で、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。

バンド

- バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
- 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
- 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。

温度

- 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止まったりすることがあります。
- ＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

ショック

- 通常の使用状態でのショックや軽い運動（キャッチボール、テニスなど）には十分耐えますが、落としたり、強くぶつけたりすると故障の原因となります。

磁気

- 時計機能には影響ありません。

薬品類

- 水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。

保管

- 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■お手入れについて

お手入れのしかた

- 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
- 金属バンドは、時々、部分洗いすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを怠ると

- 「サビ」
  - ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
    - ※ 汚れにより酸素が断たれると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
  - 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
- 「劣化」
  - 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の多い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
- 「かぶれ」
  - 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
  - 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■電池交換について

最初の電池

- 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
  - ※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。
  - ※ 電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。

消耗

- 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
- 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換

- 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
- 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。
- 電池交換の際、防水検査を行ないます。（防水検査は別途有料となります）

■液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ELパネル（表示照明部）の交換について

表示照明用として使用しているELパネル（エレクトロルミネッセンスパネル）は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見えることがあります。このようなときにはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。